

いざというときに備えて

本校では毎学期、避難訓練を行っています。

1学期は、校内に不審者が侵入したという想定で避難訓練を行い、2学期は、地震後に津波警報が出されたという想定で避難訓練を行いました。3学期は火災が発生したという想定での避難訓練を予定しています。

< 1学期 不審者侵入対応避難訓練 >



1学期は不審者対応の訓練でした。職員が不審者に扮して廊下を徘徊し、発見した職員から職員室に連絡がありました。不審者を刺激しないよう、職員と児童だけに分かるように不審者がいる場所を知らせる放送をかけました。授業のない職員は、さす股や警棒などを持って現場に駆けつけ、不審者を外へ誘導しました。



子供たちは担任の指示に従って、ドアから離れた場所に集まり、施錠した教室内で不審者対応が終わるまで指示を待ちました。安全が確認されると、全員体育館に集合し振り返りの話を聞きました。

< 2学期 地震・津波対応避難訓練 >



今学期の避難訓練は、地震後に津波警報が出され、高い所に避難するという想定での訓練でした。

緊急地震速報の警報音とともに地震発生を想定し、授業中の子供たちは頭を保護するために机の下に潜りました。

一旦運動場に避難した後、津波警報が出されたということで、近所の坂小よりも高い所にある公園まで歩いて避難する経路をたどりました。

不審者の侵入や地震、火災は、いつ発生するか予測が付きません。そんなときに慌てずどう動けばよいのか、教職員は指示をどう出し、児童はどう聞いて動くのか、いざというときに備えての訓練は、いかに切迫感をもって訓練をしておくかが大切です。

3学期の火災の避難訓練では、これまでの避難訓練を生かし、更に安全で素早く確実に避難できるようにしたいと思います。